

鳥取県小学校体育研究会 研究のあゆみ

<その歴史と研究主題一覧>

- ・昭和29年鳥取県小学校体育指導者連盟が結成される。翌年より実技講習会を開催。
- ・昭和34年学習指導要領の改訂（昭和33年）に伴い鳥取県小学校体育指導者連盟の研究指定校を置くことになった。県内（東・中・西部）に3校を指定。昭和40年まで続く。
- ・昭和41年度より、鳥取県小学校体育研究発表会として現在の姿となる。
- ・平成7年度より、県小学校体育研究発表会を隔年とする。

回	年度	会 場	研 究 主 題	講 師
1	4 1	成徳・河北	・主体性を培う体育指導のあり方	高田 典衛
2	4 2	啓成・義方	・体力づくりの効果的指導のあり方	浅川 正一
3	4 3	宝 木	・発達段階に応じた体力づくり	高田 典衛
4	4 4	成徳・明倫	・学校体育の中で体力づくりをどう進めたらよいか	梅本 二郎
5	4 5	就 将	・体育学習の効果的指導	講師なし
6	4 6	育 英	・みんなの力をだし合ってたくましい子を育てよう	鈴木 清
7	4 8	由 良	・運動の特性や発達段階に応じた学習指導の工夫	吉田 健一
8	4 9	岸 本	・ひとりひとりを生かす体育学習（運動の特性を生かし）	山西長太郎
9	5 1	醇風・附属 (中・四国大会)	・現代社会をふまえた小学校体育	浅川 正一 前川 峰雄
1 0	5 3	上 灘	・喜びを高め確かな技術を身につける体育	福岡 富雄
1 1	5 4	渡	・運動の喜びを知り積極的に活動する	岩永 務
1 2	5 5	大 岩	・豊かな人間性を育てる体育学習（楽しさたくましさを求めて）	三浦 一郎
1 3	5 6	中 山	・楽しく進んで取り組む体育学習	三浦 一郎
1 4	5 7	青 谷	・健康でたくましい心と体づくり（運動の特性を生かし 楽しく取り組む体育学習）	小沼 良輔
1 5	5 8	北 条	・進んで取り組む体育学習（運動の特性を生かした授業の工夫）	入江 克己
1 6	5 9	伯 仙	・ひとりひとりの基礎的な運動能力を伸ばし、自ら運動 する力や健康を進める力をどう育てるか	三浦 勇
1 7	6 0	郡 家 西	・気力体力の高まりをもとめて、意欲的に取り組む体育 学習の創造	高田 典衛
1 8	6 1	江 尾	・課題を持って意欲的に取り組む体育学習	大熊 廣明
1 9	6 2	美保・明德 (中・四国大会)	・喜びを持ち、いきいきと運動する子どもの育成	島 喜八 杉山 重利
2 0	6 3	社	・進んで取り組む体育学習	入江 克己
2 1	平成元	中 浜	・一人ひとりが意欲的に取り組む体育学習	山本 貞美
2 2	2	成 器	・運動の楽しさを味わいながら、めあてを持って自らみが く子の育成	油野 利博
2 3	3	西 伯	・一人ひとりがめあてを持ち主体的に取り組む体育学習	森岡 敏人
2 4	4	逢 坂	・たくましく活力ある逢坂の子どもをめざして（系統性を ふまえ意欲を高める体育学習）	遠藤 幸雄
2 5	5	関 金	・一人ひとりが意欲をもって取り組む体育学習	油野 利博
2 6	6	黒 坂	・課題をもって意欲的に取り組む子どもをめざして	村瀬 幸浩
2 7	8	湖山西・ 賀露 (中・四国大会)	・『躍動する鳥取の子ども』 (運動の楽しさを味わい、自ら学ぶ体育学習をめざして)	島 喜八 鬼塚喜八郎 池田 延行
2 8	1 0	弓ヶ浜	・たくましく、心豊かな米子の子	杉山 重利
2 9	1 2	河原第一	・自らめあてをもち、主体的に運動する、八頭の子	油野 利博
3 0	1 4	山 守	・心も体もはずませて、ともに楽しさを創る体育学習	油野 利博

3 1	1 6	余 子	・気力・体力にあふれた余子の子の育成（一人一人が伸びる楽しい体育学習）	油野 利博
3 2	1 7	若 葉 台 (中・四国大会)	・『がいな喜び だんだる力 まめな体』 (豊かなかかわりと学びのある体育学習の創造)	成田十次郎 村田 芳子 (分科会のみ)
3 3	2 0	大 山 西	・『未来へと たくましく生きる体づくりができる子どもの育成をめざして』	
3 4	2 2	岩美郡 (岩美 北・南・西)	・『いきいき わくわく みんなで 取り組む岩美っ子』 (新学習指導要領をふまえた体育学習の創造)	油野 利博 倉俣 徹 (全体会：研究の取り組みのみ)
3 5	2 4	以 西	・勢いのある鳥取の体育～はずむ心 豊かな学び 確かな学力～心豊かにかかわりながら、「わかる」「できる」喜びのある体育学習	
3 6	2 6	福 生 西 (中・四国大会)	・『勢いのある鳥取の体育』 ～はずむ心 豊かな学び 確かな力～	成田十次郎 松田 恵示
3 7	2 8	隼	・子どもたちの主体的な活動をつくり、確かな力を培う学習の展開～豊かなかかわりと学びを大切にした体育学習～	関 耕二 石浦外喜義